



11月の園だより

回覧

令和7年10月31日(金) 羽茂こども園 副園長 吉田 歩

秋空に紅葉が映える気持ちの良い季節となりました。朝晩は冷え込むようになり、寒暖差がありますが、日中は過ごしやすい天候で、思い切り遊ぶ子ども達です。室内でも様々な画材を使って絵を描いたり、穏やかな空間でじっくりと絵本を見たりと、充実した様子が見られます。

先日、南佐渡中学校2年生が職場体験に来ました。年長児とき組の子ども達に楽しんでもらおうと中学生が考えたケイドロ(警察と泥棒に分かれて行うおにごっこ)と一緒に楽しみました。すると今では、3、4歳児の子ども達も遊びに加わり、みんなで夢中になってケイドロを楽しんでいます。「また会いたいね!」と、中学生との楽しい時間を思い出す子ども達です。



11月の行事予定

日	曜日	予定	対象クラス
3日	月	文化の日	
5日	水	アートワークショップ(小川温子さん来園)	きじ組・かわせみ組・とき組
7日	金	行事食	全園児
11日	火	食育教室(午前) / 就学時健康診断(午後)	とき組親子 / とき組
20日	木	誕生日給食	全園児
28日	金	布団の手入れ	全園児



※避難訓練(地震、津波を想定)も行います。

※身体測定の日程につきましては、アプリ コドモンのカレンダーよりご確認ください。

11月の主な行事予定...・13日(土)生活発表会 ・25日(木)クリスマス会
・12月29日~1月4日 年末年始休業日

佐渡在住の画家・イラストレーター 小川温子さんが来園し、アートワークショップを開催します。11月5日に行うアートワークショップでは、アートの楽しさを子ども達と一緒に味わいたいと思います。子ども達のアートワークショップに先がけて、先日、小川さんにお越しいただき、職員を対象に研修を行い、楽しい時間を過ごしました。その中で、「自由に表現する楽しさを味わおう!」と、参加した職員で小川さんが出したお題の絵を描きました。その時に描いたトキの絵を玄関に掲示していますので、ぜひご覧ください。この時の職員のように子ども達にも自由に表現することを楽しんでもらいたいと思います。

職員についてのお知らせ

〇下記職員が11月18日より、出産休暇に入ります。

*保育教諭 塩本 知香

この度、出産に伴い、お休みをいただくことになりました。「赤ちゃん、元気かな」と優しくお腹をなでてくれたり、体を気遣ってくれたりする子ども達の優しさに感謝の気持ちでいっぱいです。復帰後、元気な子ども達に会えることを楽しみにしています。



11月うまれの友だちを紹介します

☆つばめぐみ(3さい)
かねこ ひまり さん



おたんじょうび
おめでとう!



サツマイモ掘り



J A佐渡女性部羽茂支部の皆さんと一緒にサツマイモ掘りをしました。土の中から大小様々なサツマイモが顔を出し、子ども達は宝物を見つけたような興奮と喜びで収穫を楽しんでいる様子でした。

1歳児の子ども達は、サツマイモ掘りの翌日以降、畑でサツマイモを探すなどして楽しんでいました。



焼き芋会



収穫したサツマイモは毎年恒例の焼き芋にして食べることにしました。杉葉を集めたり焚き火の準備をしたりと、焼き芋会の準備を頑張っていたとき組の子ども達が中心となって焼き芋会が行われました。秋晴れの良い天気の中、ホクホクの焼き芋をほおばり、「あっつい!でも、おいしい!」と大満足の子ども達でした。秋の味覚を十分に味わうことができました。



以上児親子遠足



10月17日に3・4・5歳児の親子遠足がありました。小木の城山公園まで歩いて行き、自然豊かな場所でたっぷり遊びました。栗拾いをしたり、ザリガニ釣りをしたり、くっつき虫を身にまとってみたりと、自然の中の遊びを楽しむ親子の姿を見て、子育ては、大人も子どもも楽しむことに大きな意味があるのだなと感じました。

大好きなお家の人と一緒に食べるお弁当は格別だったことと思います。お弁当のご用意、ありがとうございました。

翌週のある子の連絡帳に、「「保育園行かない!親子遠足がいい」とごねていました。」とありました。(掲載許可を得ています)不機嫌な気持ちのなか、親子遠足を思い出すほど、親子での充実した楽しいひと時だったのだなと思いました。来年度もまた親子で楽しめる遠足を企画していきたいと思います。



裏面に、園長「はもちのほいく」があります。こちらに合わせてご覧ください。



「はもちのほいく」 No.7

令和7年10月31日
園長 石木 むつみ

目まぐるしく季節が変わり、もうすぐ冬がやってくる？と思わせるような朝晩の冷え込みです。“いったい秋はどこへ行ってしまったのだろう”と、近年、この季節になると思います。童謡「まっかな秋」は私の大好きな歌の1つですが、歌詞の中にあるように、赤や黄色、オレンジに景色が染まり、心が豊かになるこの秋という季節があったという間に終わってしまうことに、なんとなく寂しさを覚えてしまう今日この頃です。

短い秋をあともう少し楽しみたいと思うのは、子ども達も一緒。いろいろなところに出掛けては、佐渡の秋を感じている子ども達です。

子どもの成長を支える環境

羽茂こども園では、0.1歳児クラスで「育児担当保育」を行っています。昨年度のこの紙面の中でも少し触れましたが、「育児担当保育」とは、主に生活の部分（食事・排泄・睡眠）において、特定の大人が特定の子どもに継続的に関わることで、子どもとの深い信頼関係を築き安心して園生活が送れるように援助していく保育方法のことです。

今月はこの「育児担当保育」を通して、見えてきた子ども達の姿をご紹介します。

今回は食事の場面を取り上げてみました。

育児担当保育を行っている当園では、一人ひとりの生活リズムに合わせて、食事の時間を決めています。つまり、クラス全員一緒に昼食を食べるのではなく、朝食を朝早くに食べ、早くお腹が空く子や、早起きで早めに眠くなる子から、順番に昼食を食べ始めるということです。子ども達は自分の食事の時間になると、保育者と一緒に食事の準備を始めます。

1歳児あひる組の食事の様子

～食事の準備～



担当保育者から食事の時間の声がかかると、手洗いを済ませ、自分のエプロンを取り、自ら自分の椅子に座ります。

ゴムひもを使用し着脱がしやすいエプロンを、少し保育者の手を借りながらも、自分でつけようとしています。（タオルエプロンは保護者の方の手作りです。ご協力いただきありがとうございます！）



～食事の様子～



自分で食べることを感じるできるよう、おかずなどをすくいやすいお皿、持ちやすい汁碗を使用しています。子ども達は意欲的に食べる姿があります。



一緒に食事を囲む中、自然と笑顔やアイコンタクトで気持ちを通い合わせます。おいしい気持ちや嬉しい気持ちを伝え合っているのかもしれないね。

～「ごちそうさま」から午睡へ～



食事が終わり、手を合わせて「ごちそうさま」をした後、自分の椅子を自分で机の下にしまう子ども達。片付けも習慣となり、身に付いています。

食後は自分のベッドに行き、担当保育者が来るのを待っています。安心して眠る姿が伝わってきます。



子ども達の姿を見ていると、深い信頼関係を築いた担当保育者のもと、安心して園生活を送る様子が伝わってきます。食事においては、食事の作法や完食を第1の目標にするのではなく、食べる喜びを何よりも大切にする保育者の関わりも、子ども達の大きな安心につながっているのかもしれない。

このように、担当保育者が子ども達にとっての安心基地になっているからこそ、食事の準備や片付けなど、自分でできることをやってみようとする気持ちが芽生えるように思います。そして、できたことを担当保育者と共に喜び合うことで、さらに深い信頼関係が築かれていくのだと感じています。

育児担当保育を取り入れることで、今まで以上に丁寧に子ども達と関わるできるようになりました。



左の写真をご覧ください。心を開いている保育者に、自分が今食べている食事のおいしさを、はじけんばかりの笑顔で伝えようとしています。この笑顔からは、保育者に対して微塵の疑いもない、心からの信頼が伝わってきます。

安心・信頼のもとに子ども達の成長があります。私たち保育者は、これからも子ども達にとっての安心基地であることを大切に、そして、一人ひとりの子ども達がこれから大人になるときに、自分の力を発揮して大きく羽ばたくことができるよう、丁寧に丁寧に、子ども達と向き合っていきたいと思っています。
